専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	エンタメ業界講座		授業形態 / 必・選	講義	
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	20回 (40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験50年 キティミュージック (現ユニバーサルミュージック) にて音楽活動を開始。井上陽水の前座などを務める。音楽活動終了後はTV番組制作会社に就職しアニメーション演出担当で数多くの作品に携わり、その後音楽出版社・レコード会社にて著作権管理や原盤制作ディレクターの業務やライブイベント制作を行う。				
授業概要					
アーティストとプロダクションを中心とする、音楽業界のさまざまな職種と業務および関わりを学ぶ。					
到達目標					
業界内の会社知識の修得および業界企業の相関性の理解。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	音楽業界のスキーム：音楽業界全体の概要、レコード会社、プロダクション 音楽業界のスキーム：イベンター、音楽出版社、その他
【前期】 3～4回目	音楽業界のスキーム：プロダクションの仕事概要 音楽業界のスキーム：アーティストやプロダクションの収益構造
【前期】 5～6回目	音楽ビジネス構造の歴史と変化
【前期】 7～8回目	代表的なメディア：テレビ局／ラジオ局／出版社／Webメディア
【前期】 9～10回目	スタジオ：映像制作会社／編集スタジオ／MAスタジオ
【前期】 11～12回目	スタジオ：レコーディングスタジオ／マスタリングスタジオ／リハーサルスタジオ
【前期】 13～14回目	コンサート制作：ホール／ライブハウス／イベンター／舞台製作会社 コンサート制作：PA会社／照明会社／ローディー会社／機材レンタル会社
【前期】 15～17回目	マネタイズ：労働と対価／権利ビジネス／金銭を生む仕組み マネタイズ：マーチャンダイズ／販売サイトの立ち上げ方
【前期】 18～20回目	金銭管理：請求書の書き方／税金と申告 金銭管理：プロジェクトの計画と損益分岐点／資金調達
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	音楽・芸能業界のさまざまな職種と業務および関わりを学ぶことで、各企業の関わり方、つながりを知る。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	マネジメントワーク		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	20回 (40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験28年 音楽ソフトの企画・制作からプロモーション、アーティストマネジメントに従事。その後、ヘアメイク、スタイリスト、カメラマン、デザイナーなどクリエイターのマネジメントに移行。現在も幅広く業務を行っている。				
授業概要					
プロダクションとマネージャーの業務内容を把握し、マネジメントの売上方や仕組み、プロダクションの立ち位置や役割、対メーカー、対媒体等、総合的に考え動くことができるよう、基礎となる知識を学ぶ。					
到達目標					
プロダクションやマネージャーに関する基礎知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	マネジメントの成り立ち マネジメント：仕事の流れ
【前期】 3～4回目	マネジメント：事務所／ファンクラブ／情報収集／プロフィール作成 マネジメント：新人発掘／オーディション／プレゼンテーション
【前期】 5～8回目	マネジメント：日本のプロダクションについて
【前期】 9～10回目	マネジメント：アーティスト・俳優・タレント・声優との関わり方
【前期】 11～12回目	マネジメント：アーティストプランニング／スケジュールの組み方 マネジメント：GoogleMap／道路／新幹線／飛行機／行程組み
【前期】 13～14回目	マネジメント：音源制作／ビジュアルワーク制作／ミュージックビデオ制作
【前期】 15～17回目	マネジメント：営業／お店とインスタ／アウトストア マネジメント：プロモーション／宣伝／販売促進
【前期】 18～20回目	マネジメント：ライブ制作／予算と場所／宣伝／グッズ マネジメント：セット図／セットリストについて
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	アーティスト活動を支えるマネジメント業務/レコード会社業務の実務を学ぶことを目的とし、どのような形でマネージャーが業務に関わるか、レーベルスタッフが業務に関わるかを身につける。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	デジタルマーケティング		授業形態 / 必・選	講義	必修
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	20回 (40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☐	非該当 ☒	
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
エンターテインメント業界に求められるデジタルスキル獲得を目的とする演習形式の授業です。YouTube、Twitterなど各SNSを基礎から学び、バズ・炎上を理解して戦略的なSNS運用ができるようデジタルマーケティング・配信・企画のプレゼンテーションを学修します。					
到達目標					
インフルエンサーレベルでのSNSの戦略的なノウハウやデジタルマーケティングスキルを身に付け、SNSをビジネスの場で活用できる人材。					

授業計画・内容	
【後期】 1～2回目	SNS：SNSの基礎知識 目的 SNS：YouTube YouTube基礎 (理解、運用方法、バズ観点)
【後期】 3～4回目	SNS：Twitter Twitter基礎 (理解、運用方法、バズ観点) SNS：Instagram Instagram基礎 (理解、運用方法、バズ観点)
【後期】 5～6回目	SNS：Tik Tok Tik Tok基礎 (理解、運用方法、バズ観点) SNS：炎上&誹謗中傷理解 対策検討 (グループワーク)
【後期】 7～8回目	デジタルマーケティング：デジタルマーケティングの基礎知識 デジタルマーケティング：ヘルソナ分析、TAPS分析
【後期】 9～10回目	デジタルマーケティング：3C分析 デジタルマーケティング：マンダラチャート分析
【後期】 11～12回目	デジタル配信：音声配信 (各サービス、運用方法、コツ) デジタル配信：ライブ映像配信 (各サービス、運用方法、コツ)
【後期】 13～14回目	ビジネススキル：ロジカルシンキング、プレゼンテーション デジタルマーケティング：カスタマージャーニーマップ分析
【後期】 15～17回目	デジタルマーケティング：USP、SWOT分析 デジタルマーケティング：STP分析、自己分析
【後期】 18～20回目	デジタルマーケティング：マーケティングフレームワーク分析実習① デジタルマーケティング：マーケティングフレームワーク分析実習②
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	今や国内だけに留まらず世界を相手にしてマーケティングを行うため、国や時代によってどんな方法があるのかを学ぶことで柔軟な思考を養う。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	キャリア講座 I		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	20回 (40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義と実践ワーク、更にロールプレイングを通して、ビジネスマナーを体得する。 ・授業ごとに、言葉遣いの確認、小テストを実施し、習得度を確認。 ・応募先にむけた自己PR、志望動機作成、面接対応実施。履歴書・ES作成指導。 					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的なビジネスマナーについて、[知っている]から[できる]さらに[いつもできている]を目指す。 ・信頼感を伝えるために、「スキル」と「人格」の両輪を育てる。 ・自己理解を深め、アピールできる自分の強みを知り、将来のキャリアが描けるようになる。 					

授業計画・内容	
【後期】 1～2回目	オリエンテーション 企業やビジネスシーンにおける印象やマナーの大切さ
【後期】 3～4回目	印象の重要性(表情・身だしなみ・態度・立居振るまい)
【後期】 5～6回目	言葉遣いと話し方のポイント～正しい敬語や丁寧な話し方・発声練習～
【後期】 7～8回目	プロトコールとは何か～席次・国旗・握手・異文化を知る・自己紹介
【後期】 9～10回目	電話対応の基本 (受け電・掛け電・取次ぎ)
【後期】 11～12回目	接遇の基本 (ご案内・サービスの提供の仕方)
【後期】 13～14回目	職場の人間関係 (報告・連絡・相談・指示の受け方)
【後期】 15～17回目	コミュニケーションと傾聴の大切さ
【後期】 18～20回目	席次と訪問のマナー (ロールプレイング) 就職活動のマナー (面接の受け方のロールプレイング)
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	自分の第一印象について知ること、自分の長所・短所をどのように変えていけば良いのかについて考え、自身のキャリアプランの作成に取り組み、自身の未来の構築について考えていくとともにビジネスマナーを習得する。
使用教科書	実践ビジネスマナー/コミュニケーション技法テキスト使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	セルフデベロップメント		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	21回 (42単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☐	非該当 ☒	
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
ポピュラーミュージックを中心に、洋楽、邦楽の歴史、その時代背景とムーブメントが起きた理由等を映像や音源で確認しながら解説。					
到達目標					
アーティストが持つバックボーンや音楽の歴史等の知識の修得。 音楽ジャンルに関する知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	アイデアを出す：連想法 / シソーラス / ラテラルシンキング アイデアを出す：起承転結 / 流れ
【前期】 3～4回目	アイデアを出す→膨らませる：キーワードを出して書き出す アイデアを出す→膨らませる：オズボーンのチェックリスト
【前期】 5～7回目	思考の言語化
【前期】 8～10回目	文章による思考の表現：相手の思考を推理する訓練 / 物語を作文する
【前期】 11～13回目	文章による思考の表現：パラグラフライティング / 想像力を養う / 文章化
【前期】 14～15回目	論理的な思考① 論理的な思考②
【前期】 16～17回目	論理と破綻、そして発想
【前期】 18～19回目	アイデアを出すツール：ブレインストーミング法のルール / ディスカッション法 アイデアを出すツール：KJ法 / マンダラート
【前期】 20～21回目	思考実験：哲学者が考えた思考実験に取り組む 思考実験：音楽関係の思考実験に取り組む
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	音楽業界に関わる人として、音楽の歴史を知るとはとても重要なことの一つ。授業を通して学んだことは、音作りや演出など直接反映され、将来の仕事につなげることができる。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	レーベルワーク		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	21回 (42単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経歴39年 レコード会社で宣伝業務に5年、音楽制作を10年以上担当。1999年からはネットビジネス事業部の立ち上げから携わり、その後も現在のIoTの先駆けとなるエンタテインメントコンテンツの配信、映像・音楽コンテンツの制作など全般的に担当。現在は合資会社を設立し著作権管理やコンサート企画制作、グッズ企画など幅広く音楽関連事業に従事している。				
授業概要					
プロダクションとマネージャーの業務内容を把握し、マネジメントの売上方や仕組み、プロダクションの立ち位置や役割、対メーカー、対媒体等、総合的に考え動くことができるよう、基礎となる知識を学ぶ。					
到達目標					
プロダクションやマネージャーに関する基礎知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	レコード会社の成り立ち レコード会社：仕事の流れ
【前期】 3～4回目	レコード会社：制作／宣伝／営業（販促） レコード会社：メジャーとインディーズ／流通
【前期】 5～6回目	レコード会社：日本のレコード会社について① レコード会社：日本のレコード会社について②
【前期】 7～8回目	レコード会社：日本のレコード会社について③ レコード会社：日本のレコード会社について④
【前期】 9～10回目	制作：マーケティング 制作：コンセプト
【前期】 11～12回目	制作：楽曲づくり 制作：リファレンス
【前期】 13～14回目	制作：ジャケット制作基礎 制作：レコーディング基礎
【前期】 15～17回目	宣伝・営業（販促）：宣伝プラン／ミュージックビデオ① 宣伝・営業（販促）：宣伝プラン／ミュージックビデオ②
【前期】 18～21回目	宣伝・営業（販促）：営業プラン／販売促進① 宣伝・営業（販促）：営業プラン／販売促進②
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	アーティスト活動を支えるマネジメント業務/レコード会社業務の実務を学ぶことを目的とし、どのような形でマネージャーが業務に関わるか、レーベルスタッフが業務に関わるかを身につける。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライティング講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	42回 (84単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☐	非該当 ☒	
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
依頼文や手紙などの実用文章、レポート文、SNS、小論文など様々な文章の形態について学び、社会人としてのスキルを身につける。					
到達目標					
音楽業界で仕事をする上で必要な文章力を身につける。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	文章の種類：仕事で求められる文章の種類、特徴について解説 語彙を増やす：適切な言葉を選べるようになるためのポイント
【前期】 4～6回目	語彙を増やす：対義語・類義語のおさらい 語彙を増やす：感情表現のバリエーションを考える
【前期】 7～10回目	思考訓練：物事を様々な方面から見る練習 思考訓練：名称から実態を想像する／ものに名前を付けてみる
【前期】 11～16回目	説明が上手くなるには：文章で手順を説明する練習 物事の大意、芯を捉える：長い物語を決められた字数に要約する練習
【前期】 17～18回目	体験したことを文章にする：自分の身に起こったことを文章で説明する 体験したことを文章にする：ライブ・レビューの書き方
【後期】 19～22回目	調査をして解説する：ニュースなどの詳細を調べて文章をまとめる練習 SNS時代の文章のまとめ方：メディアに合った文章
【後期】 23～28回目	紙資料を作ってみよう：アーティストの魅力を伝える文章の書き方 紙資料を作ってみよう：互いの資料を読んで感想を伝え合う
【後期】 29～40回目	論理的思考のための練習：原因と結果の考察 論理的思考のための練習：読み手を納得させる文章のポイント／言葉の再定義
【後期】 41～42回目	実用的文章（メール）：要件がわかりやすいメールの書き方 実用的文章（手紙）：時候の挨拶を入れたフォーマルな手紙の書き方
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	文章はコミュニケーションの重要な手段であり、スキルアップには継続的な練習が必要です。講座で学んだことを実践し、積極的に練習することが大切です。自分自身のアイデアや思考を素直に表現することを心掛けましょう。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	著作権講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	42回 (84単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴39年 レコード会社で宣伝業務に5年、音楽制作を10年以上担当。1999年からはネットビジネス事業部の立ち上げから携わり、その後も現在のIoTの先駆けとなるエンタテインメントコンテンツの配信、映像・音楽コンテンツの制作など全般的に担当。現在は合資会社を設立し著作権管理やコンサート企画制作、グッズ企画など幅広く音楽関連事業に従事している。				
授業概要					
オリコンチャートを参考に現在の音楽業界の状況、用語、チャートの読み方の解説。 ビジネス著作権検定初級の合格を目指した著作権に関する解説。					
到達目標					
著作権の基礎の理解、ビジネス著作権検定初級合格。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	オリコンチャートの解説と読み方、ビジネスと法／ビジネス契約と著作権 著作権の概要／著作権法の性質／著作権法の目的／著作物の定義／特別な著作物
【前期】 4～6回目	保護される著作物／著作者の定義／著作者の推定／著作者の例外 著作者と著作権者／著作者の権利／著作権の内容（著作者人格権と著作権）
【前期】 7～9回目	著作者人格権公表権／氏名表示権／同一性保持権／著作者人格権のみなし侵害行為／著作者人格権の一身専属性／人格的利益の保護／財産権としての著作権の内容
【前期】 10～15回目	複製権／上演権および演奏権／上映権／口述権 公衆送信権／公への伝達権／展示権／頒布権／譲渡権／貸与権
【前期】 16～21回目	二次的著作権に関する権利／保護期間の始期／著作権の保護期間／著作権の登録制度／著作物の国際的保護／外国人の著作物の保護期間／著作権の譲渡／譲渡に関する特掲
【後期】 22～26回目	著作物の制作委託と著作権の譲渡／共同著作権の場合／著作権の消滅／権利制限規定の趣旨／私的使用のための複製／付随的著作物の利用
【後期】 27～32回目	検討の過程における利用／教育関係／図書館関係／上演・演奏等関係／引用、転載関係／著作隣接権の内容／著作隣接権の制限と保護期間
【後期】 33～38回目	著作隣接権者（実演家）／著作隣接者（レコード製作者、放送事業者・有線放送事業者）／著作権の侵害／みなし侵害／著作権侵害罪／民事的対策／知的財産権制度
【後期】 39～42回目	産業財産権と著作権／情報社会と情報モラル／プライバシーに関する制度
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	音楽ビジネスの根幹となる著作権についての理解を深め、音楽ビジネスの成り立ちについてアーティストサイドの考え方も理解した上で、自分なりの考えを身につける。
使用教科書	ビジネス著作権講座テキスト使用。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ファンクラブワーク		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	42回 (84単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験21年 専門学校卒業後、レコード会社で宣伝、制作、マネジメントを経験。担当アーティストが紅白歌合戦出場。その後広告代理店でデザインを学び、当時担当していたアーティストの個人事務所にて、マネジメント、ファンクラブ、グッズデザインなどマネジメント全般を担当。現在はフリーランスのデザイナーとしても活動中。				
授業概要					
会報制作・アーティストグッズ・ホームページ・ファンクラブ運営等のような業務なのか、基礎知識を学ぶ。					
到達目標					
ファンクラブの存在価値や仕事内容の知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ファンクラブの成り立ち ファンクラブ：仕事の流れ
【前期】 4～6回目	ファンクラブ：マネージャーとの連携
【前期】 7～9回目	ファンクラブ：マーチャンダイズ ファンクラブ：お金の流れ
【前期】 10～15回目	ファンクラブ：イベント・旅行会社の提携
【前期】 16～21回目	ファンクラブ：チケット優先
【後期】 22～26回目	ファンクラブ：グッズ制作
【後期】 27～32回目	ファンクラブ：会報誌制作
【後期】 33～38回目	ファンクラブ：Webサイト制作
【後期】 39～42回目	ファンクラブ：デザイン入稿
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	デザインを通じて、企画力などを総合的に身につけ、多角的な視覚と柔軟な行動力を身につける。また、外部実習を通じて、枠にとらわれない発想力を育む。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	クリエイティブPC		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	21回 (42単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
素材の収集から加工、基礎的な映像編集を用いて、PCで映像コンテンツをゼロから作り出せるために必要な技術を学ぶ。					
到達目標					
iMovie、Premiere、After Effectの基本的な操作及び動画素材の収集や加工技術の習得。					

授業計画・内容	
【後期】 1～2回目	映像編集とは / 動画コンテンツの流行分析 / 動画のつくられ方・撮影技法について
【後期】 3～4回目	映像編集素材：スチールカメラ撮影 / アーティスト写真撮影 / ビデオカメラ撮影 映像編集素材：illustratorやPhotoshopでの素材加工と連携
【後期】 5～6回目	iMovieとPremiereの違いについて
【後期】 7～8回目	iMovie：基本編集操作 / テキストの使用 / 音声の編集 / 動画の書き出し iMovie：プロジェクト / クリップの扱い / トランジション / エフェクト
【後期】 9～10回目	Premiere：基本編集操作 / UIについて Premiere：タイトル作成 / エフェクト / 書き出し
【後期】 11～13回目	Premiere：キーフレームアニメーション / トランジション効果 Premiere：エフェクト効果 / 図形の作成 / シーケンス設定 / 書き出し
【後期】 14～16回目	After Effectについて After Effect：基本操作 / エフェクト製作 / エフェクトのインポート
【後期】 17～19回目	PremiereとAfter Effectを使用した動画制作実践 I PremiereとAfter Effectを使用した動画制作実践 II
【後期】 20～21回目	動画制作発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	iMovie/Premiere/After Effectなどの、ソフト使用方法を学び、動画編集のために必要な技術を学ぶ。また映像素材のためにカメラでの撮影技術やillustrator、Photoshopを使用した素材加工と連携といった製作技術を高める。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	パソコン講座 I		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	42回 (84単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒				
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
Macの基本操作、Illustrator・Photoshopを使用した書類、印刷物などの作成方法、ファイルフォーマット知識等PCの基本的リテラシーを学ぶ。					
到達目標					
Google、Illustrator、Photoshopの基本的な操作法およびデータファイルのビジネスでの使い方の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ファイルの操作と知識：画像ファイル／音ファイル／動画ファイル／拡張子 コンピューターにおける色の表現：RGB／CMYK
【前期】 4～6回目	基礎的な色彩学 基礎的な画像処理理論
【前期】 7～9回目	ファイルの管理：クラウドの扱い／個人情報の扱い Chatツールの使い方／オンラインツールの使い方
【前期】 10～15回目	Google：Mailの設定／書き方のルール／署名／CC、BCC／Classroom Google：Meet／Form／Keep／Drive／Word、Excelとの連動
【前期】 16～21回目	Illustratorによるデザインと理論 Photoshopによる画像処理と理論
【後期】 22～26回目	Illustrator：基本的な図形作成／ペンツールの使い方／テキストの扱い／パスファインダ／紙のサイズと厚さの単位
【後期】 27～32回目	Illustrator：トリムマークの作り方／アピアランス等の発展的使い方／画像配置／クリッピングマスク／フレイヤーの作成
【後期】 33～38回目	Photoshop：カラーモード、解像度、サイズの変更／画像の切り抜き／レイヤーの扱い方
【後期】 39～42回目	Photoshop：文字ツールを使う／バナーを作成してみる／画像の明るさ補正／色調補正
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	Word/Excelなどの、ソフト使用方法を学び、効率の良いビジネス文章は書類の作成を学ぶ。またillustrator、Photoshopを活用しデザイン・印刷など主にDTP（Desktop Publishing）のためのグラフィックコンテンツの作成技術を学ぶ。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロダクション実習 I		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	180分 (1単位時間45分)	年間授業数	80回 (160単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験35年 キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社し、マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で数々のヒットに貢献する。2005年に独立し、主な業務としてマネジメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。				
授業概要					
オーディション開催からアーティスト発掘までを行う。					
到達目標					
アーティスト発掘の方法論の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～9回目	オーディション：オーディション概要／どんなアーティストを募集するのか
【前期】 10～19回目	オーディション：必要な宣伝方法／募集要項／選考方法／スケジューリング
【前期】 20～29回目	オーディション：オーディションライブプレゼンテーション練習
【前期】 30～34回目	オーディション：オーディションライブプレゼンテーション本番
【前期】 35～41回目	オーディション：オーディションフライヤー作成／エントリーシートなどの作成
【後期】 42～51回目	オーディション：1次審査、2次審査についての内容を決定
【後期】 52～61回目	オーディション：選考締切～1次選考～結果通達
【後期】 62～71回目	オーディション：選考締切～2次選考～結果通達
【後期】 72～80回目	オーディション：アーティスト顔合わせ
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	アーティストをマネジメントしていく上で新人発掘を行う。イベントを行う上で必要な知識を学び、実際にイベントを制作していく。また2年次に協力してもらってアーティストをオーディションイベントを開催して自分たちの力で決定する。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロダクション実地演習 I		授業形態 / 必・選	演習	必修
			年次	1年次	
授業時間	180分 (1単位時間45分)	年間授業数	8回 (32単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。					

授業計画・内容	
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント リハーサル見学
2～7回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント①～⑥
8回目	外部企業見学
評価方法	平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	アーティスト研究		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	21回 (42単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース マネージャー/レコード会社専攻				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経歴39年 レコード会社で宣伝業務に5年、音楽制作を10年以上担当。1999年からはネットビジネス事業部の立ち上げから携わり、その後も現在のIoTの先駆けとなるエンタテインメントコンテンツの配信、映像・音楽コンテンツの制作など全般的に担当。現在は合資会社を設立し著作権管理やコンサート企画制作、グッズ企画など幅広く音楽関連事業に従事している。				
授業概要					
ポピュラーミュージックを中心に、洋楽、邦楽の歴史、その時代背景とムーブメントが起きた理由等を映像や音源で確認しながら解説。					
到達目標					
アーティストが持つバックボーンや音楽の歴史等の知識の修得。音楽ジャンルに関する知識の修得。最新の音楽チャートから売れる音楽を読み、企画・プレゼンできる人材。					

授業計画・内容	
【後期】 1～2回目	音楽の仕事：自分にとっての音楽について考える 音楽の歴史：概要～全体像認識
【後期】 3～4回目	今週のチャートから、チャートから見える音楽業界を読み解く
【後期】 5～6回目	今週のチャートから、新号のトピックスをいくつか取り上げて解説する
【後期】 7～8回目	今週のチャートからチャートインするアーティスト、楽曲、そのプロモーション戦略などを考える
【後期】 9～10回目	音楽の歴史：音楽シーン/相関（邦楽編）
【後期】 11～13回目	音楽の歴史：音楽シーン/相関（UK編）
【後期】 14～16回目	音楽の歴史：音楽シーン/相関（US編） 音楽の歴史：音楽シーン/相関（その他地域編）
【後期】 17～19回目	アーティストプレゼン：アーティスト選定 アーティストプレゼン：魅力の伝え方
【後期】 20～21回目	アーティストプレゼン：プレゼン準備 アーティストプレゼン：発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	音楽業界に関わる人として、音楽の歴史を知るとはとても重要なことの一つ。授業を通して学んだことは、音作りや演出など直接反映され、将来の仕事につなげることができる。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	デザインワーク		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	21回 (42単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース ファンクラブ/デザイン専攻				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験21年 専門学校卒業後、レコード会社で宣伝、制作、マネジメントを経験。担当アーティストが紅白歌合戦出場。その後広告代理店でデザインを学び、当時担当していたアーティストの個人事務所にて、マネジメント、ファンクラブ、グッズデザインなどマネジメント全般を担当。現在はフリーランスのデザイナーとしても活動中。				
授業概要					
会報制作・アーティストグッズ・ホームページ・ファンクラブ運営等のような業務なのか、基礎知識を学ぶ。					
到達目標					
ファンクラブの存在価値や仕事内容の知識の修得。					

授業計画・内容	
【後期】 1～2回目	Microsoftを使用したファンクラブテクニック
【後期】 3～4回目	デザインのチェックポイントについて バランスや色使いについて
【後期】 5～6回目	Illustrator：デザインの基本
【後期】 7～8回目	Illustrator：デザインと理論
【後期】 9～10回目	Photoshop：画像処理の基本
【後期】 11～13回目	Photoshop：画像処理と理論
【後期】 14～16回目	Illustrator/Photoshop：アーティストフライヤーの作成
【後期】 17～19回目	Illustrator/Photoshop：グッズデザイン～グッズの作成
【後期】 20～21回目	Illustrator/Photoshop：CDジャケット案作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	デザインを通じて、企画力などを総合的に身につけ、多角的な視覚と柔軟な行動力を身につける。また、外部実習を通じて、枠にとらわれない発想力を育む。
使用教科書	随時プリント資料配布